特定非営利活動法人Earth Communication

2022年度　事業報告書

１　事業の成果

自然楽校事業では、ネイチャーズクラブとして、親子を対象とした年間定期プログラムを計画し、募集を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあってか参加者が集まらず、開催中止となった。参加者が集まらなかった要因は他にもあると考えられるため、今後、さまざまな形で体験プログラムを計画・実施し、御前崎市で取り組む体験活動へのニーズを探っていく。オープンプログラムでは昨年度同様、新型コロナウイルス対策として各回1組もしくは1家族のみで開催。天候不良による延期等もあったが、多くの方に参加していただくことができた。アクティビティとしてシーカヤック体験を楽しんでいただくだけでなく、久々生海岸の現状や海岸環境の重要性と貴重性についてもお話をさせていただき、海岸環境保全活動の大切さを知っていただくことができた。EC LABOでは、中学校の外部部活的な取り組みとして、平日活動も交え、コミュニケーションスキルや指導スキル、アクティビティスキルの向上を目指し、研修プログラムに取り組んだ。御前崎クエストに参加していた子どもたちが参加してくれていることもあり、実活動につながる活動を多く取り組むことができた。

未来へのこす事業では、昨年度に引き続き「環境学習Program アース・キッズ」を実施。しずぎんふるさと環境保全基金様から助成をいただくことができ、6月の「アマモ場の生きもの調査隊」と7月の「夜の海辺の生きもの観察会」を実施。久々生海岸で取り組む環境学習プログラムへは多くの方が参加してくださるようになってきている。また、セブン-イレブン環境市民活動として活動助成をいただくことができ、「アース・キッズ＋」という4回セットの定期活動にも挑戦することができた。季節の変化に合わせ、海辺の環境の変化を体験的に知っていただけるよう活動を実施。天候不良等で延期になってしまうこともあったが、定期活動として参加していただいた皆さんに、さまざまな活動を通して、季節の変化に伴う海の変化を知っていただくことができた。同時に、季節によって海岸環境の課題が変化することについても知っていただくことができた。その他にも、海辺での環境学習プログラムを開催し、海辺活動へのニーズが多くあることが明らかとなった。また、初めての試みとして、里山での環境学習プログラムにも挑戦したが、告知の弱さもあったためか、海辺での活動ほど参加者を集めることができなかった。御前崎という地域のニーズも影響しているように考えられる。　久々生海岸で取り組むビーチクリーン活動は、久々生海岸 里海プロジェクトとして継続的に実施。1年間で延べ428名の方にご協力いただき、約18,210ℓ、約2,170kg分の漂着ゴミを回収することができた。昨年度同様、10月には小笠南地区 労働福祉協議会の皆様と共に取り組むビーチクリーンを実施。また、12月には国土交通省中部地方整備局の皆様によるお声がけをいただき、御前崎港 安全協議会の皆様と共に、久々生海岸の一斉清掃を行うことができた。久々生海岸 里海プロジェクトとして取り組んできたこれまでの活動が認められ、御前崎港における新しい港湾計画策定の場にも携わらせていただくことができた。法人としては、国土交通省港湾局が定める港湾協力団体にも指定していただくことができた。久々生海岸のアマモ場においては、J-ブルークレジットの認証をいただくことができた。久々生海岸での活動は、多くの方に認知していただくことができ、活動として認めていただくことができてきている。里山まもり隊として取り組む竹林整備活動については、実活動に合わせて実施。整備後の竹を活用した取り組みを行い、それらの活動の大切さを改めて認識することができた。インタープリター養成として、NEALリーダー養成講座を開講。県外からの参加者が多く、地域による意識の差があることを改めて認識する機会となった。

自然とつながる事業では、御前崎市社会教育課の皆さんと共に取り組む御前崎クエストの活動が大きく発展し、対象年齢別に全部で4つのプログラムを実施。新型コロナウイルス感染拡大による大きな影響を受けることがなく、久しぶりに、通常通りの活動を行うことができた。また、御前崎市環境課の皆さんと共に取り組む「御前崎 環境出前講座」も始動し、市内3小学校で、環境に関する体験的な授業を実施することができた。これについては、御前崎クエスト共に、御前崎市の主要事業として指定していただくことができた。団体として取り組む子育てや人材育成につながる様々な活動などへの評価をいただくことができ、静岡県こども未来課の皆様からは、「ふじさんっこ応援大賞 審査員特別賞」をいただくことができ、静岡県青少年育成会議の皆様からは、「青少年団体等の顕彰 青少年団体の部」として表彰していただくことができた。休耕田を活用した稲作の取り組みでは、天候不良の影響を大きく受け、良い形で収穫などはできなかったが、地域の農家さんと連携することができ、関係性を深めることができた。

法人全体としては、臨機応変な対応を余儀なくされることが多くあり、法人運営面においては厳しい状況が続いているが、多くの方に私たちの取り組みや活動を知っていただくことができた。この数年はコロナ禍であったが、多くの活動に取り組むことができ、法人として様々な形で評価をいただくこともでき、結果的に、実りある良い1年となった。これに満足することなく、2023年度においても取り組みの継続・強化・発展をさせ、会員など直接的に関わってくださる方を増やしていきたい。

２　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

事　業　名	事　業　内　容	実　施 日　時	実　施 場　所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
自然楽校事業	EC LABO	4月～翌年3月末 月4回程度	法人事務所等	2名	市内学生 7名	288
	オープンプログラム シーカヤック体験	4～10月	御前崎市 久々生海岸	2名	一般参加者 64名	282
未来へのこす事業	環境学習Program アース・キッズ(海活動)	5月～12月 全14回	御前崎市 久々生海岸	3名	一般参加者 合計 延べ 248名	1,361
	環境学習Program アース・キッズ (里山活動)	6月～翌年2月 全9回	御前崎市 あらさわふる里公園 他	2名	一般参加者 合計 52名	196
	里海・里山まもり隊 久々生 里海プロジェクト	4月～翌年3月末 全41回	御前崎市 久々生海岸	12名	保全協力者 年間延べ 428名	68
	里海・里山まもり隊 竹林整備作業	10月～翌年2月 全7回	御前崎市内の竹林	4名	整備協力者 年間延べ 35名	16
	インタープリター養成 NEALリーダー養成講座	6月1.2日 11月26.27日 全2回	御前崎市 あらさわふる里公園 他	2名	一般参加者 合計 12名	96
自然とつながる事業	協働Program 御前崎クエスト ジュニアプログラム	毎月1回 合計12回	御前崎市内各所	3名	市内児童 52名登録	2,169
	協働Program 御前崎クエスト ユースプログラム	奇数月 合計6回	御前崎市内各所	2名	御前崎市民と高校生 13名登録	360
	協働Program 御前崎クエスト ファミリープログラム	偶数月 合計6回	御前崎市内各所	2名	市内在住・在勤の家族 7家族19名登録	414
	協働Program 御前崎クエスト キッズプログラム	5・8・11・翌年2月 合計4回	御前崎市内各所	2名	市内児童 17名登録	260
	協働Program 御前崎 環境出前講座	6月	御前崎市内小学校 3校	1名	対象小学校の児童 約180名	120
	協働Program 海洋体験活動	6月～7月	御前崎市内小学校 5校	1名	対象小学校の児童 約280名	240
	協働Program 講師等の活動	通年	関係各所	1名	一般参加者 等	616
	結。 休耕田を活用した稲作	4月～翌年2月	御前崎市内の田んぼ	4名	一般参加者 延べ20名	35
	ホームページやSNS等の管理運営	随時	団体事務所	2名	不特定多数	50

＊１　「事業の実施に関する事項」は、事業ごとにそれぞれの項目を記載する。
２　「受益対象者の範囲及び人数」は、具体的に記載する。
３　２(2)は、定款に「その他の事業」の記載がない場合には不要。
４　定款に掲載している事業で報告書に掲載していないものは、その理由を記載する。